

第9回教育委員会定例会会議録

平成26年9月22日（月）

場所：国立市役所教育委員会室

出席委員	委員	長	山口直樹
	委員長職務代理者		城所久恵
	委員		嵐山光三郎
	委員		高橋宏
	教育長		是松昭一
出席職員	教育次長		宮崎宏一
	教育総務課長		川島慶之
	教育指導支援課長		金子真吾
	指導担当課長		三浦利信
	生涯学習課長		津田智宏
	給食センター一所長		本多孝裕
	公民館長		石田進
	図書館長		森永正
	指導主事		荒西岳広

国立市教育委員会

○【山口委員長】 皆様、こんにちは。9月も後半に入りまして、少し涼しくなってきたのですが、日差しが暑いという感じです。いずれにしても、過ごしやすい季節になってきたというように思います。

今年度が始まりまして、ほぼ6カ月です。きょうは、前期の事業計画、各課の事業計画の進捗状況の報告も、この後入ってきております。これからの進め方についても、いろいろとご審議をいただければと思います。学校も2学期が始まり、もう、かなり落ちついて、運動会などの時期にもなってきました。子どもたちが、活発に動き回っている声も聞こえてくる時期であります。どうぞよろしくお願いをいたします。

これから、平成26年第9回教育委員会定例会を開催いたします。

本日の会議録署名委員を嵐山委員をお願いいたします。

○【嵐山委員】 はい。

○【山口委員長】 よろしくお願いをいたします。

それでは審議に入ります。

では、初めに、教育長報告をお受けします。

是松教育長、お願いします。

○【是松教育長】 申しわけございません。

教育長報告の前にですが、行政報告は、秘密会扱いでしたか。

○【宮崎教育次長】 はい。失礼しました。行政報告は、秘密会扱いです。

○【是松教育長】 委員長。本日の議案のうち、行政報告第14号「教職員の人事異動について」は、人事関係の案件でございますので、秘密会とすることを諮っていただきたいと思っております。

申しわけございません。

○【山口委員長】 では、本日の審議案件のうち、行政報告第14号「教職員の人事異動について」は、人事案件です。秘密会といたしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○【是松教育長】 お願いいたします。

◇

○議題(1) 教育長報告

○【山口委員長】 それでは、是松教育長、よろしくお願いをいたします。

○【是松教育長】 それでは、8月26日の第8回定例教育委員会以後の主な教育委員会の事業について、ご報告申し上げます。

8月27日水曜日に、中学校の2学期が始業をいたしました。

同日から29日までの期間で、最後のグループとなります。六、七小が、小学5年生の野外体験教室を実施いたしました。

8月28日木曜日、この日より中学校の2学期給食が、スタートいたしました。

同日、東京都市教育委員会連合会理事会・理事研修会が開催され、山口委員長が出席されました。

8月29日金曜日に、この日から30日まで、1泊2日で、社会体育事業富士山トレッキングを行いました。

8月31日日曜日に、国立市総合防災訓練が実施され、教育委員会からも関連する職員が参加いたし

ました。

9月1日月曜日、この日より小学校の2学期が始業しております。同日より19日までの期間、国立市議会第3回定例会が開会いたしました。

9月2日火曜日に、校長会を開催いたしました。

同日、小学校の4校で、2学期の給食を開始しました。残り4校につきましては、翌3日に開始しております。

同日、給食センターの献立作成委員会を開催いたしました。

また、この日から26日までの期間、三中のいじめ防止プログラムをスタートさせました。26日までの期間、断続的にワークショップを開催し、26日以降は、スクールバディトレーニング等、スクールバディの活動に移ってまいります。

9月6日土曜日、道徳授業地区公開講座を、二中で開催しております。

同日、図書館40周年記念事業第1回を、公民館で行いました。

9月8日月曜日、東京都主催の文部科学省教育委員会制度改正の説明会が開催され、山口委員長と城所委員が出席されました。

9月9日火曜日に、副校長会並びに公民館運営審議会を開催しております。

9月10日水曜日、二中の2年生の職場体験学習が、12日までの3日間行われております。

同日、国立市議会の総務文教委員会が開催されました。

9月12日金曜日、国立市教育リーダー研修会を開催し、昨年に引き続き、各校における組織力向上の取り組みの発表を行っていただきました。

同日、給食センターの物資納入登録業者選定委員会を開催しております。

9月16日火曜日に、社会教育委員の会を開催いたしました。

9月17日水曜日に、四小の市教委学校訪問を行っております。

9月18日木曜日に、図書館協議会並びにスポーツ推進委員定例会を開催いたしました。

同日より20日までの間、第一中学校3年生が、奈良・京都方面の修学旅行を行っております。

9月19日金曜日に、国立市議会の第3回定例会最終本会議がございましたが、この本会議に、第五小学校6年生の児童が、市議会を傍聴いたしました。

9月20日土曜日、道徳授業地区公開講座が二小で開催されました。地区公開講座の終了後、第二小学校の校庭芝生化完了の公開式、オープンセレモニーが開催されました。

同日、図書館40周年記念事業の第2回を、公民館で開催しております。

教育長報告は、以上です。

○【山口委員長】 ありがとうございます。

教育長報告をいただきました。ご意見、ご感想などございましたら、お願いをいたします。

高橋委員。

○【高橋委員】 2学期最初の教育委員会訪問で、国立第四小学校の各学年の授業を参観した感想を述べたいと思います。

国立市の教員の授業改善に取り組む積極性というのを感じました。国立市の教育委員会が重視する授業というのは、もう既に、広く理解されているところだと思います。問題解決的な学習です。

これは、今まで行われてきた、教師が一方的に話して黒板に書いたことを、児童・生徒が写すだけ、もしくは、教師が知識を教え込むだけの授業とは異なって、児童・生徒が課題を把握し、予想を

立てながら、意欲的、主体的に解決できる授業ということで、その問題解決的な授業について、全ての教師が授業改善プランというのを、第四小学校の場合、校長及び研究部に提出して、校内の研究を進めているという姿勢を、私はとても評価できるというように思います。これは、教育委員会と学校の連携が、非常にうまく行っている証左ではないかと、このように感じました。

以上です。

○【山口委員長】 ありがとうございます。高橋委員より、ご感想をいただきました。

そのほかいかがでしょうか。

城所委員。

○【城所委員】 今月も、いろいろと出かけさせていただきましたので、感想を述べたいと思います。

まず、時系列でいきますと、道徳授業地区公開講座で、二中にお邪魔しました。講師は、後藤先生が再びおいでになって、今回は、中学生の子どもたち二人と、大人が二人の4人グループで、ディスカッションをしたのですが、先日、小学校のときに使った題材と同じ題材を使われました。

私が組んだグループは女の子が二人ということもあったのですが、いろいろなことをお話してくれて、もじもじもせず、いろいろと、自分の胸の内を明かしてくれるようなグループでした。やはり、小学生に比べると、中学生のほうが、もっと自分の建前と本音が存在しているということがはっきりしているという、そういう年ごろなのだということを感じさせていただくとともに、言葉にして表現をしていただくということで、自分の中にそういうものがあるということがわかるというだけでも、随分力になるのではないかとこのように考えました。

次に、四小へも伺ったのですが、こちらも教科担任制が2年目に入っていて、授業を見せていただき、去年に比べると、さらに先生方がスキルアップをしていると伺いますか、顔にも自信があらわれていて、落ちついていて、堂々と専門の教科の授業をしている姿を見せていただきました。やはり、公立小学校ということで、毎年人がかわったりして、そのあたりが悩みの種のように、人材の確保や育成という点が問題になるようなのですが、学校全体で、そちらに力を入れて取り組んでいる様子を見せていただきました。本当に、ありがたいと思いました。

二小の道徳授業地区講座にもお邪魔したのですが、ここでは、金子教育指導支援課長が講師をしていただいて、お話をした後、三つのグループに分かれて、意見交換ということで場を持ちました。その中で、おっしゃっていた方が、低学年のうち、ある型というものがある、それがいいことだからというような授業が通用するかもしれないけれども、中学年以上になると、いい型ばかりではなくて、社会には矛盾があって、いいことと悪いことが存在していて、とても矛盾をはらんだ世界で、自分たち大人は生きているというようにおっしゃっていたお父さんがいて、それをどのように子どもたちと共有していけばいいかというところが、自分自身もいつも自分に問うているというお話をされていました。本当に、全くそのとおりだと思っています。常に矛盾がある中で、自分がどこに立って、どのようにあるかということ、いつも常に問われるのではないかと私自身も思っています。

引き続き、芝生の完了公開式がありました。6年生が、ソーラン節を初めての伝統、芝生に刻むぞということで、踊っていただいたのですが、それを見守る下の学年の、何というのでしょうか、6年生を圧巻といいますか、6年生は6年生で最高学年という顔をして、式をまとめてくれたように思います。

今まで、地域の方、学校と、たくさんの方がかかわって、実現するところまで行ったのだと思うのですけれども、起ち上げるまでのエネルギーと、これから持続していくエネルギーとは、少し変わってくると思います。式典の中で、校長先生もお話をされていましたが、芝生ができたからよしではなくて、芝生を通して、これから学んでいくということをお話しされていました。大人も子どももいろいろかかわっていく中で、いろいろなことが、これから発生していくのではないかと思うのですけれども、それを一緒に楽しみながら、いろいろなことにチャレンジしたり、解決したりと、一緒にしていけるようなものになっていければいいというように思いました。

幾つか、ご質問があります。

国立市の教育リーダー研修会にもお邪魔しました。ことしも、各校、いろいろ工夫を凝らして発表していただいたのですけれども、その場でアンケートを取っていると思うのですが、そのアンケートを集約したものを教えていただきたいと思います。聞いて終わり、見て終わりだととてももったいないので、持ち帰れるもの、どのように使えるかなど、そのような視点で、もし書かれているものがあれば、ご紹介ください。

それから、図書館の40周年の記念事業が、第1回、第2回と行われていますので、そのあたり、少しかいつまんでご報告いただければ、ありがたいと思います。

それから、三中のいじめ防止プログラムのほうは、お忙しい中、教育指導支援課の方も足を運んで見ていただいて、本当にありがとうございます。感謝しております。

では、2点、お願いいたします。

○【山口委員長】 三中のいじめ防止プログラムについては、質問ではないのですね。

○【城所委員】 はい。

○【山口委員長】 それでは、質問としては、9月12日に行われたリーダー研の反応、アンケートの結果についてです。

それから、図書館に関しては、40周年の記念事業が行われておりますので、そのことに関してです。

荒西指導主事。

○【荒西指導主事】 私からは、リーダー研修会について、教員の感想をお伝えいたします。

今回は、組織力向上をテーマに、昨年度、市内の半数の学校が発表したものを受け、残りの半数の学校が発表したという形になりました。特に、教員からの感想の中で一番反響が大きかったことは、校務改善によって、学校の組織を、さらに向上させ、子どもの教育活動に生かすということが勉強になったという声です。このことにつきましては、幅広く、多くの教員から、今後生かしていきたいということが挙げられていました。

また、課題点としては、さまざまに発表、プレゼンの方法があったのですけれども、やはり、リーダーとして組織を動かす上で、あのようなプレゼンの仕方や手法についても、教員としては身につけるべきであろうということで、そのプレゼンの方法についても、今後学んでいきたいというような意見があったり、それから、中に教員の人間関係ということも、非常に重視すべきだというような話もあったのですけれども、そちらと、組織として何かをつくり上げていくということの関係性といえますか、仲よしだけではなかなかうまくいかないこともあるだろうしということについては、考えさせられたというような意見も、中にはございました。

以上です。

○【山口委員長】 ありがとうございます。

○【城所委員】 ありがとうございます。

○【山口委員長】 では、森永図書館長。

○【森永図書館長】 それでは、9月6日、9月20日に行われました、図書館40周年記念事業について、ご報告申し上げます。

中央図書館につきましては、昭和49年5月に開館となっております。以来、ことしの5月で、ちょうど40年を迎えたということでもあります。現在、中央図書館については、耐震工事で休館しておりますけれども、その間につきましても、図書館としての事業を行っていかうということから、40周年を記念した事業を企画いたしました。3回目は、10月4日になります。この3回につきましては、講師の先生、それから、コーディネーターを兼ねて、東京学芸大学の山口源治郎先生をお願いしております。図書館学についてのご専門の先生でいらっしゃいます。

第1回目が、9月6日午後2時から4時、公民館地下のホールで開催されました。参加者は、40名ほどとなっております。この中でのテーマとしましては、「多摩の図書館のあゆみ」ということで、多摩地域が都心に対しましてベッドタウン化していく中で、市民の本への要求、読書への要求が高まった、そのような動きの中で、各市図書館の建設が始まったということがあります。国立市につきましては、昭和49年の開設ということ、中ぐらいの開設の時期になってきております。

特徴といたしましては、図書館をつくと、その前段で、市民の方のさまざまな活動がありました。特に、家庭文庫での活動の方が紹介されて、そのような地域におけます文庫活動の動きのほらも、図書館をつくるという大きな力になってきているということと、40年間変わらず、今は、くにたちお話の会という大きな会になっておりますけれども、こちらの市民ボランティアの方、そして図書館の職員が一体となって、児童の読書推進に努めてきたというようなところが語られました。

第2回目は、パネルディスカッションとなりまして、4名の先輩方にご登場いただきました。くにたちお話の会から、平塚ミヨさん、光野トミさんです。お二人とも、家庭文庫を支えてこられた方々です。それから、図書館OBとしまして、元館長の田中武司さん、元職員の岩本和博さん、現在は児童文学作家として活躍されております。4名の方から、中央図書館創設期のころのお話をお聞きしました。やはり、お話の内容としましては、市民の活動と一緒に図書館をつくり上げてきたというようなところが語られてきました。

それから、3回目、10月4日には、市民参加型のワークショップを開きまして、「くにたちの図書館のこれから」ということで話をまとめていきたいと考えております。このような講演会のまとめと、図書館の40年の歩み、それから、これからの歩む方向性、それらのことを、この機会に一つの記録としてまとめていきたいというところもあります。

報告は、以上です。よろしく願いいたします。

○【山口委員長】 よろしいでしょうか。

○【城所委員】 はい。ありがとうございます。

○【山口委員長】 そのほか、教育長報告へのご質問、ご感想ございますでしょうか。

では、私のほうから、感想と質問をしたいと思います。

まず、報告を見て、学校が始まって動き始めているというようなことをとても感じた部分と、リーダー研修会、合同研など、先生方が小・中を越えて一緒に研修をしている姿は、本当にすばらしいと、改めて、また感じたところです。

これ以外で、9月5日に、指導教諭になった三小の高木先生の初めての模範授業の公開があって、全部で10名ぐらいでしたか、4市ほど、周辺の市から来ていたように思います。もちろん、市内の小学校からも来ていました。模範授業を聞いて、新たな試みになると思うのですが、それをやられている姿を、私は少し拝見させていただいて、高木先生の授業自体、とてもすばらしかった。あのよう、ゆっくり見たことは、私としては初めてだったのですけれども、流れるようなというのか、私自身が、特に感じた部分があるのです。そういう授業を実際に見ながら、先生自身が授業のイメージをつくってもらえるといいと思います。高木先生の理科の授業ですけれども、もちろん、子どもたちとの間の関係性ができ上がっていて、でき上がるというのは変ですけれども、作りながらということは、ずっと続くと思うのですが、かなりできた上で、授業に入っているの、導入から展開からまとめから、子どもたちが主導して、一緒にやっているような感触を、私自身はとても感じました。流れるようなということで、私自身は表現をしたのですが、見せていただき、これが今後も続けられていくこと、もう一回あるということを知っていますので、ぜひ、頑張ってくださいと思います。

それから、質問を2点ほどさせていただきたいのですが、一つは職場体験学習についてです。中学校で始まっておりますので、その内容や様子です。そして、子どもたちの反応を、わかっている範囲で、今現在、二中では、10月10日から行われております。

それから、先週の金曜日に五小の6年生が市議会の傍聴に行ったのですが、何か、どういう反応だったかということがあれば、聞かせていただきたい。こちらは、終わったばかりですから、ないのかもしれないですが、いかがでしょうか。

以上2点、お願いします。

荒西指導主事。

○【荒西指導主事】 それでは、私から、国立第二中学校の職場体験について、ご報告いたします。

9月10日から12日までの3日間ということで、1事業所当たり少なくとも1名、多くて6名、平均で2、3名行きまして、全67事業所で受け入れを行っていただきました。本年度は、新しく動物病院や銀行なども含まれているということで、教員が工夫しながら新しい職場体験の場も確保している状況です。

今年度の2年生の状況につきましては、学校からの報告によりますと、どちらかというとおとなしい生徒が多いということで、特に失礼なことということは報告されてはいないのですが、体調不良になってしまってお休みをしたり、逆に、少し元気がないなどと言われたりした生徒もいたということです。

生徒の感想につきましては、さまざまな事業所で、多様な感想が出てきていますが、まずは充実感とともに、幼稚園や老人ホームで、「帰らないで」と言われて涙ながらに帰ってきたり、思ったよりも仕事の間というのは、とても疲れるところなのだとわかったなど、それから、どちらかという、座って学ぶ機会が多かったというようなことでした。さまざまな事業所の中で、工夫した体験をさせていただいているという状況が、明らかになっています。

また、今回も含めて、国立第二中学校では、事前学習として、ハローワークの協力を得て、ゲストティーチャーに、3回ほど講座を依頼しているということがございます。職業のレディネステストと申しますか、その場にいる自分がどのようなスキルを、今持っているのかという確認をしたり、それから、マナー講習などを受けた上で、職場体験に当たっているということです。

今後については、さまざまな事業所によってできる体験が違うので、生徒の声も聞きながら、今後の事業所について、検討していくということでございます。

以上です。

○【山口委員長】 ありがとうございます。

では、三浦指導担当課長。

○【三浦指導担当課長】 先週の金曜日、19日に、第五小学校の6年生が、国立市議会の最終日を傍聴させていただきました。第五小学校の6年生は3クラスありますので、10時から11時までの一つのブロックを、1組と2組が30分交代で、11時15分からのところで、3組がその後30分ぐらいという、時間を区切りながらの傍聴でしたが、議会事務局のご協力をいただいて、無事に終了できました。

内容的には、一番最初、1組が入ったところは、「草刈り中の事故」ということで、あまり身近な内容ではなかったのですが、後半の2組、3組については、今、議論されています、学童を6年生まで延長するという、少し自分たちにも身近な話題でしたので、子どもたちは、真剣に聞いていました。

実際に傍聴しての感想については、今、学校で取りまとめていただいて、幾つか、代表作については、議会報にも載せていただけるということですので、追ってわかるかと思うのですが、議場に入ってきた子どもたちの第一声は、「ああ、すごい」という声が上がりましたので、そういう意味では、身近な場所ではありますが、実際に体験することは大切だということがわかりました。

以上です。

○【山口委員長】 ありがとうございます。

そういう体験をして感触をつかむことは、今後にとってとてもいいのかと、そして、長い目で見たときに、必要なことのかというように思います。

ほかには、よろしいでしょうか。

城所委員。

○【城所委員】 追加ですが、子どもたちがいらして、見られた側の議会の反応や感想などはありますか。届いていれば、ご紹介ください。

○【山口委員長】 宮崎教育次長。

○【宮崎教育次長】 小学生が来ているからということかどうかはわかりませんが、一つは、それぞれの議員の方が少し張り切ってといますか、発言が多かったかと感じました。

それから、議長の進行においても、小学生が見に来てくれているという状況を、非常に気を遣いながら進行して下さったというような印象を受けました。

それ以上は、特段、お話しはしませんけれども、おそらく、市議会議員の方々も、おおむねよかったというように受けとめてくださっていると思います。それは、議員の方々の個々のブログ等にも、結構取り上げて、そのように書いてあります。

以上です。

○【山口委員長】 よろしいでしょうか。

○【城所委員】 はい。ありがとうございます。

○【山口委員長】 ありがとうございます。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)



○議題（２） その他報告事項１）平成26年国立市議会第3回定例会について

○【山口委員長】 では、よろしければ、続きまして、今もお話がありましたけれども、その他報告事項１、平成26年国立市議会第3回定例会についてに入ります。

宮崎教育次長。

○【宮崎教育次長】 それでは、教育委員会関係の案件を中心に、平成26年国立市第3回定例会について、ご報告申し上げます。

本定例会は、平成26年9月1日から19日間の会期で開催されました。初日の本会議では、報告1件及び教育費を含む平成26年度一般会計補正予算案等、市長提出議案13件と陳情2件が提出され、一部の即決案件を除いて、各常任委員会にそれぞれ付託されました。

9月3日から5日までと8日の4日間は、一般質問が行われました。20名の議員が一般質問を行い、このうち10名の議員から教育にかかわる質問がありました。

みらいのくにたち・望月議員より、国立市と大学との連携について、現状等を確認する質問がありました。

自由民主党・明政会・大和議員より、通学路における防犯カメラの設置についての考えは、校庭及び河川敷グラウンドの芝生化について、アフタースクールサポート事業の現況と今後について等の質問がございました。

自由民主党・明政会・東議員より、小中一貫教育について。これは、他市の事例等を含めてご説明を申し上げます。学校行事について。こちらは、行事の中での交通安全教育、それから防災訓練等、学校現場での行事が非常に大切であるという骨子で、ご質問いただきました。公共施設の現状について。こちらにつきましては、特に、給食センター、それから図書館が老朽化している中で、今後、どのような方向で考えているのかというご質問でございました。

新しい風・藤江議員より、駅直近に24時間使用可能な図書館予約本貸出ロッカーを設置できないか、生活者ネット・前田議員より、国立駅周辺・高架下における図書館スペースや子育て支援機能について。また、いじめ防止対策は「子どもの側」に立っているか、共産党・長内議員より、文教都市くにたちの教育予算について、教育委員会の後援について、共産党・尾張議員より、学校予算を拡充し教育条件整備の施策拡充を、利用しやすい芸術小ホールへ改善を。これらの共産党の議員の方からの質問については、もっと、教育費を、一般会計の中での比率も、平成25年度は低いので、しっかり措置していったほうがいいのではないかというようなご趣旨の質問でございました。

自由民主党・明政会・石井議員より、小学校通学路における防犯カメラ設置について、生活者ネット・阿部議員より、インクルーシブ教育システム構築モデル事業の進捗状況について、こぶしの木・上村議員より、教育委員会制度改革に伴う国立市教委の基本的姿勢について、以上の質問がございました。

特に、校庭の芝生化の次年度以降の予定につきましては、現在、三小が希望しておりますので、今後、予算に向けて調整したい旨の答弁をいたしました。

また、子ども家庭部が提案しました、子ども・子育て新制度に関する条例案の審議に際しましては、今後5年間の経過措置期間の中で、特に、学童保育の対象が現行の3年生までから、6年生までとなることに伴い、施設面などでの教育委員会としての考え方を問われる質問がございまして、制度

改正に伴い、学校教育に支障を来たさぬ範囲で、これまでよりさらに進めた考えで、子ども家庭部からの相談に応じ、協議検討していく旨の答弁をいたしました。

9月10日に総務文教委員会が、11日に建設環境委員会が、12日に福祉保健委員会が開催され、本会議からの付託案件が審査されました。

教育委員会関係では、教育費の歳入の補正予算案を含む平成26年度一般会計補正予算第3号案が、総務文教委員会で審査されたほか、平成25年度国立市教育委員会活動の点検・評価報告書についてと国立市いじめ防止対策推進条例等の素案について、こちらの2点の報告をいたしました。

点検・評価につきましては、多くの委員から、詳細について、ご質問をいただきました。

大和委員からは、学校支援センターが若手教員の資質向上や特別支援教育の推進という観点からどのように機能しているのか、PHSの導入に関する学校現場の評価について、給食費の収納についてなどのご質問をいただきました。

前田委員からは、警察と学校の相互連絡制度の運用状況について、人権教育はどのように進められているか、適応指導教室に在籍し、学校に通えるようになった児童・生徒について、全国学力学習状況調査に関し、どのような取り組みが成果として出てきているのか、体罰報告事案について、芸術小ホールと総合体育館の改善の仕組みづくりについて、わくわく塾についての今後の検討の方向性について、教育委員会制度改革について、図書館が来館しやすい場所となる方策についてなどのご質問をいただきました。

長内委員からは、教育委員と市民との対話の機会について、給食費の滞納や不登校の相談をきっかけに福祉などへの相談につなげないかといったご質問をいただきました。

重松委員からは、いじめについては問題行動と切り離して、点検・評価の上で目標設定をしたらどうか、点検・評価報告書の今後の改善の見通しについて、3人の学識経験者についてそれぞれどういう視点からご意見をいただく考えか、といったご質問をいただきました。

稗田委員からは、エピペンの研修について、タブレットPCの今後の方向性について、ご質問をいただきました。

石井委員からは、夏休みの短縮により授業時間をふやす取り組みについてのご質問のほか、他の部局に対し、さまざまなイベントが土曜日に実施されることが多いが、日曜日のほうが児童・生徒が参加しやすいので、そういった配慮をしてほしいといったご意見がございました。

全体を通しましては、教育委員会は非常によくやっている、成果が随分と上がっているという評価をいただいた上での質疑であったと感じております。

次に、いじめ防止対策推進条例等の素案についてです。

前田委員から、パブリックコメントでは、当事者の児童・生徒の意見も取り入れるべきとのご意見がありました。

重松委員からは、パブリックコメントの過程そのものが、学校に限らず人間関係が持てるような地域社会をつくっていくというようなことを一緒に考えて、参加していける場にしてほしいといったようなご意見がありました。

長内委員からは、児童等はいじめを行ってはならないという条例を、市がつくらなければいけない残念な時代になってしまったと思うとのご意見がありました。

石井委員からは、国立市として絶対にいじめは許さないという覚悟を持って、この条例をつくると感じた。弱者を守り、お互いが認め合って大切にしていける気持ちが重要だといった、ご意見がありま

した。

大和委員より、いじめ防止プログラムとの関係、今後の進め方について、ご質問がありました。

9月19日に最終本会議が開催され、市長提出議案は、全て原案可決となりました。

当日は、ご案内のとおり、五小の6年生が、議会の傍聴、見学を行っております。

以上が、平成26年国立市議会第3回定例会の報告でございます。

以上でございます。

○【山口委員長】 ありがとうございます。

市議会報告をいただきました。ご質問、ご感想など、いかがでしょうか。

五小の感想ですけれども、五小の子どもたちが傍聴に行ったということも含めて、これほど、今ご報告いただいた多くの質問を受けたことは、うれしいというのは変なのですけれども、教育委員会がかかわっている事業に、これほど関心を持っていただいて、福祉との連携のようなことなど、幅広いご質問をいただいたことは、とてもうれしいと思って、我々も、そういう意見などを聞きながら、よりよい方向性を探っていければと感想として持ちました。

よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)



○議題(3) その他報告事項2) 平成26年度教育委員会各課の事業計画の推進状況について

(教育総務課、建築営繕課、教育指導支援課、生涯学習課、給食センター、公民館、図書館)

○【山口委員長】 次に、その他報告事項2、平成26年度教育委員会各課の事業計画の推進状況についてに移ります。

順番ですけれども、教育総務課、建築営繕課、教育指導支援課、生涯学習課、給食センター、公民館、図書館の順でお願いをいたします。

初めに、教育総務課事業について、川島教育総務課長、お願いします。

○【川島教育総務課長】 それでは、教育総務課、平成26年度の主要事業の推進状況について、ご報告いたします。

教育総務課では、教育委員会に関連し、事務局の総務を全般的に担っているほか、就学手続や学級編成、学校保健関係業務等を所掌しています。

教育委員会活動の点検・評価報告書につきましては、先ほど宮崎教育次長より報告がありましたとおり、先日10日に開催されました、市議会総務文教委員会で報告させていただき、教育委員会はよくやっているといった、ご意見やご質問をいただきました。

東京都市教育長会については、平成25年度より会長市を務めており、定例の会議や研修会の開催、東京都教育庁への予算要望に関する業務等を行ってまいりましたが、4月9日に開催された総会をもって、会長職を狛江市教育長へ引き継ぎ、事務局についても狛江市へ滞りなく引き継ぎを行いました。

学校事務については、年度当初に、配当予算説明会を実施し、毎月の事務職員会を開催するほか、日常の指導・支援に努めております。

教育広報誌である「くにたちの教育」の発行については、5月、8月と発行を行っております。年4回の発行となりますので、今年度は、残り12月と3月の発行となっております。

就学援助の手续や定期健康診断等の学校保健業務についても、滞りなく実施をしております。

下半期の留意事項については、2点、平成27年4月の教育委員会制度改革に向け、例規整備等をしっかり進めていく必要があるということと、生活保護基準の引き下げの影響を受ける、平成27年度の就学援助基準について、方向性を決定していくことがあります。

課題につきましては、建築営繕課と重複しておりますので、そちらでご説明をさせていただきます。

以上でございます。

○【山口委員長】 ご説明いただきました。ご質問、ご意見などございますか。

質問なのですが、通学路の安全点検でしたか、当初、注目の事業といたしますか、関心事としてあって、今、防犯カメラの設置等が検討されていると思うのですけれども、ここには載っていなかったと思うのですが、それについては、どうなのでしょう。

川島教育総務課長。

○【川島教育総務課長】 通学路の合同点検につきましては、現在、学校と日程を調整中でございます。予定では、11月に実施をさせていただく予定です。

○【山口委員長】 はい。

よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○【山口委員長】 では、続きまして、建築営繕課事業について、川島教育総務課長。

○【川島教育総務課長】 それでは、建築営繕課分、平成26年度の主要事業の推進状況について、ご報告いたします。

屋内運動場非構造部材耐震化対策工事につきましては、今年度、三小、四小、八小、三中で工事を行っており、三小、八小については工事が完了し、この9月で、学校への引き渡しを完了させていただいております。残りの四小、三中についても、工事はほぼ完了し、10月の初旬には、学校への引き渡しが完了する予定です。なお、今年度工事を行わなかったほかの7校につきましては、今年度、工事実施設計を委託しているところであり、来年度、工事を実施する予定です。

第一中学校校舎の外壁補修工事を来年度予定しておりますので、現在、その工事実施設計を委託しております。

第二小学校の芝生化整備工事につきましては、夏休み中の養生期間を経て、8月30日に学校へ引き渡され、既に使用を開始しております。9月20日の日に、児童、学校関係者、地域の方々などが参加した、盛大なセレモニーも催されました。

(5) 以下に記載させていただいているその他の工事についても、順調に完了しております。

下半期に向けましては、当初より予定している第五小学校の給水管改修工事に加えて、老朽化に伴い急遽必要となった、第五小学校の濾過配管取替などのプール改修工事と、第七小学校の西側フェンス取替工事を行ってまいります。

今後の課題としまして、老朽化に伴う大規模改修などについて、今年度、建築営繕課で策定が予定されている施設保全計画や、それを踏まえて、平成27年度以降に政策経営課が中心となって策定される、市全体の方針を策定していく中で検討を進めていくこととなります。その中で、学校施設を、今後どのように整備していくのか、決めていくことが求められています。そういった状況の中で、学校現場との連携を密にし、教育委員会、市長部局の建築営繕課、そして、政策財政担当部局がしっかり

連携調整しながら、教育環境整備の充実に向けて、必要な施設改修等を実施してまいります。

報告は、以上でございます。

○【山口委員長】 ご説明いただきました。ご質問、ご意見などいかがでしょうか。

質問といいますか、状況確認なのですが、全体として、工事が進んで、体育館は、もうすぐ使えるようになるのかということと、各学校へ行きまして、聞いていますが、来年も幾つかの学校で工事が入ると思うのですが、手際よくやっていたりしているような感じは持っているのですが、全体として、何か支障が出たり、トラブルがあったり、特にはないでしょうか。

川島教育総務課長。

○【川島教育総務課長】 若干の工事のおくれ等は出ていますが、大きなトラブルが起きているという報告は、受けておりません。

○【山口委員長】 どうしても、日常使っている状態と違う状態に学校がなるので、安全の確保は、特に、細部に向けてということで、もう一度、教育指導支援課とも調整しながら、各校に注意喚起をしていただいて、事故が起こらないようにしていただければと思います。

よろしく願いいたします。

高橋委員。

○【高橋委員】 トイレのことについて、少し質問をしていいですか。

近年、学校のトイレは、きれいなトイレ、児童・生徒が本当に使いやすく、トイレでの交流といいますか、ゆったりとできるような、そういうトイレというのが、各地で見られるのですけれども、国立市のトイレは、壊れたところを直していくという営繕の仕事はずっと続くようだけれども、いわゆる、理想形といいますか、こういうようなトイレがあったらいいという、そういった構想のようなものは、どのように持っているのでしょうか。わかる範囲でお願いします。

○【山口委員長】 川島教育総務課長。

○【川島教育総務課長】 現時点では、特に、具体的に、こういったトイレということはないのですが、また、今後の学校の大規模改修等に絡めて実施していくような形になるかと思います。

○【山口委員長】 宮崎教育次長。

○【宮崎教育次長】 今、高橋委員がおっしゃったように、新しいトイレというのは、これまでの、いわゆる湿式、水で洗い流すというタイプから、乾式、家庭と同じように、乾いていて、掃除機をかける。特に、こういった公共の施設、学校も含めてのトイレでは、女性用のパウダールームというのですか、そういったような形のトイレが、大きな建てかえなどの大規模改修、改造工事の中で出てくると思います。

おそらく、トイレを抜本的にどうするかという検討はこれからなのですが、基本的には、そういった流れがありますので、抜本的なトイレ改修を行っていくときには、そういった方向で検討を進めていくのかというような考えといいますか、印象は持っております。

○【高橋委員】 はい。ありがとうございます。

○【山口委員長】 学校側からは、何かありますでしょうか。

三浦指導担当課長。

○【三浦指導担当課長】 私が以前勤務していた学校は、その新しいタイプのトイレが設置されていまして、トイレの前に、ベンチが置かれたスペースがあったのですけれども、それはそれとして、いい部分もあるのですけれども、逆に、そこに人がいると、落ちついて用が足せないというところもあ

るので、少しそのあたりは、学校に設置するのによりよいものということは、また、時期が来たら考えながらやる必要があるかとは思っております。

○【山口委員長】　そうですね。一般的な公共的な施設と学校という場のところでの、トイレのありようは、違う部分があるのではないかという、私も、感覚的には若干思うのですが、国立市ではないのですが、新しい校舎をつくっている学校を見ると、結構オープンといいますか、居心地のいい形になっているなどは思うのですが、その使い方がどうなのかは、見ながらという、長期的な計画になると思います。

よろしいでしょうか、高橋委員。

○【高橋委員】　はい。

○【山口委員長】　城所委員。

○【城所委員】　学校へ伺うと、建築営繕課と教育総務課の動きがとても早くて、助かっているというお声をたくさん聞いています。先日も、朝、壊れたところが見つかったら、夕方にはもう直っているような場面を見せていただきまして、本当に感謝しています。建築営繕課の方にも、よろしくお伝えください。

ありがとうございます。

○【山口委員長】　はい。ありがとうございました。

この前、学校訪問したときに起こった事象ですけれども、すぐに対応して下さってということは、私も、実際、実体験をして、すばらしいと思っています。

それでは、よろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○【山口委員長】　続きまして、教育指導支援課事業について、金子教育指導支援課長。

○【金子教育指導支援課長】　では、教育指導支援課事業の進捗状況について、ご説明申し上げます。これまでも、定例会の中で随時ご報告申し上げますので、ここでは、2学期の中でポイントになる事業について、ご説明申し上げます。

まず初めに、「命の教育」推進事業にかかわりまして、既に報道等でご存じのことかとは思いますが、夏季休業日から2学期当初にかけて、東京都内で小・中学生の自殺と見られる事案が相次ぎ発生しました。学期当初の校長会、副校長会等の中で、夏休み明けは、心身に変化が起きる時期であり、子どもたちの小さな変化を把握してほしい旨を伝え、命にかかわる重大な事故が起きることのないよう、未然防止を大前提とした組織的な対応を指導してまいりました。

また、先ほど次長からも、ご説明がありましたように、市議会で、国立市いじめ防止対策推進条例の素案について、総務文教委員会にご報告申し上げます。また、国立市の、今、中学校ですが、いじめ防止プログラムということで、第三中学校を皮切りに、取り組みをスタートしております。プログラムの中で、生徒が主体的に真剣な話し合いを進める姿が大変印象に残りました。また、いじめについて考える時間と場を与えることの意味について、改めて実感をしたところでございます。

次に、学力・体力向上事業につきましては、学力面では、合同授業研究会、学力向上プロジェクト、各校の校内研究など、また、体力面では1校1取り組み、休み時間を活用した体育活動等の実践の成果により、各校の着実な取り組みが継続されております。現在、3年間ほどのスパンで長く見ますと、緩やかではありますが、学力・体力ともに向上を継続しているということが申し上げます。

また、2学期以降の取り組みといたしましては、小学校については、弱点に対する指導のポイントを明らかにした授業改善、また、中学校については、正答率が低い問題についての分析と授業改善など、より具体的な視点を掲げ、学力向上プロジェクトを中心にしながら検討を進めてまいります。

また、先ほどもご報告にありました、小学校にタブレット端末等を導入いたしましたので、この2学期については、より効果的な活用や着実に実践を積み重ね、情報交換を行いながら、子どもたちの関心、意欲を高める授業の工夫などについて、ICT機器の活用を促していきたいと考えております。

3点目に、特別支援教育推進事業につきましては、特別支援教育アドバイザーの方たちが、訪問指導を通しまして特別支援学級の指導の質を高めるため、通常学級の個に応じた指導など、具体的な助言をいただきました。それぞれが、授業改善につながるよう連携を密に取っていききたいと考えております。

最後になりますが、10月19日曜日には、新規事業であります、「国立市青少年音楽フェスティバル」を開催いたします。参加される演奏者のみならず、聴衆の皆様も含めて、心の温まる人と人とのきずなを大切にしたい会になるよう、現在、準備を進めているところでございます。

今後も、それぞれの事業実施の趣旨を踏まえ、実践を着実に積み重ねることができるよう事業を進めてまいります。

以上で、進捗状況の報告を終わります。

○【山口委員長】 ご説明をいただきました。ご質問、ご意見などございましたらお願いいたします。

全体的な感想ですけれども、学校ですので、子どもたちにかかわる教育委員会の中の一番重要な管轄するところの一つだというように思っております。特に、子どもたちの育っていく環境は、非常に大事ですので、命のことや、もちろん、学力・体力など、インクルーシブの教育を、今進めているところですが、全ての子どもたちが教育を受けられる、それを保証するところの研修であったり、いろいろ試みて、今実施をされているということはわかっているのですが、まとめて書いていただいて、進んでいるというように思います。これから後半戦に入っていきますけれども、より細かい目を持って、きめ細かく、推進していただければありがたいというように思います。

また、ともに進んでいきたいと思っております。よろしくお願いたします。

ほかには、よろしいでしょうか。

城所委員。

○【城所委員】 細かいところなのですが、Ⅱの学力・体力向上事業の中で、「問題解決的な学習DVD」という項目があるのですが、合同研全体研修会で見せていただいたりはしたのですが、その後、活用の状況など、使ってみて、どのような状況であったかということが、もしわかれば教えていただきたいです。

先ほどの、一番最初の教育長報告と重なるところもあるのですが、国立市リーダー研修会のさらなる充実ということで、5回実施ですので、350名の参加ということなのですが、得たものをどのように活用しているか、どのように自分の力になったかなど、追跡は必要であるということもあります。やはり、そのときお話を聞いてできそうでも、日常に帰るとそのままになるということが、おそらくあるかもしれないので、そのあたり、少しどうなのかということ、ご質問したいです。

○【山口委員長】 では、DVDの活用についてと、それから、リーダー研の活用ですか。その後の状況ということです。

荒西指導主事。

○【荒西指導主事】 では、私のほうからは、DVDについて、ご説明します。

合同研では、理科部会がDVDについて、全教員に紹介をいたしましたけれども、各校、校内研で、特に、小学校は、実際に全員で見て、ポイントについて、確認をするということをやっています。ただし、課題がございまして、学校側からの声としましては、やはり、学校に1枚しか配っていないものですから、見たいときに確認をするということがなかなか難しいというお声もありましたので、教員がぱっと見られるところに配置してもらえないだろうかという、そういうような声を聞き及んでいます。

また、今後、こういった形でDVDの教科を広げていくかということについても、学力向上プロジェクトで話し合いはされているのですけれども、かなりの時間と労力がかかるものですので、何枚も何枚も、立て続けに作成するという事は難しいだろうということになっていますので、今年度は、昨年度に授業を撮影いたしました、中学校の数学のDVDについて作成していこうという話で、今進んでいます。

以上です。

○【城所委員】 ありがとうございます。

○【山口委員長】 では、三浦指導担当課長。

○【三浦指導担当課長】 リーダー研の活用の状況、方向性についてのお話なのですが、今回の第5回までで、350名の参加があったのですが、職層を限定している会以外は、今年度の新規採用教員も研修に出ているという状況がありまして、受講生の幅が、大変広いのが特徴だと思っています。本来、リーダーとして、学校組織をつくり上げるべき受講の層もありますし、中核として、そこにどう参画していけばいいのか、あるいは、新規採用、若手教員として学校のためにどういうことを、今後していけばいいのかという、それぞれの立場で見ているものでありますので、この成果を、まさに学校で、一つこういう組織力を上げるための取り組みをするときに、それをサポートする側の教員も一緒に入れることで、今、学校の力が高まっているというように考えています。

特に、城所委員からご質問いただいたような、どうやって今後やっていきますかというところについては、各会のアンケート等で取らせていただいているところですので、そのあたりの意見もよく見ながら、次年度以降の内容についても、整理をしていきたいと考えております。

以上です。

○【山口委員長】 ありがとうございます。よろしいでしょうか。

○【城所委員】 はい。いろいろとありがとうございました。

○【山口委員長】 ほかには、よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○【山口委員長】 続きまして、生涯学習課の事業について、お願いします。

津田生涯学習課長。

○【津田生涯学習課長】 それでは、生涯学習課の平成26年度事業計画の進捗状況について、ご説明いたします。

まず、1. 社会教育推進への取り組みについてです。

(1) 第20期社会教育委員の会は、諮問、「家庭教育支援の充実について」への答申作成に向けて毎月討議を重ね、現在、章立ての検討、執筆分担を行っております。

(2) 出前講座「わくわく塾くにたち」の実施につきましては、8月末現在で、21件の申し込みがありました。

(5) 文化・芸術のまちづくりを推進するために実施する、くにたちアートビエンナーレ事業につきまして、彫刻展は、おかげさまで全国から119作品の応募があり、第一次選考で15作品が選出されました。これら15作品の模型作品を、11月より市内で展示します。また、くにたちアートビエンナーレ事業を、市全体で推進できるよう、各部の庶務担当課長を中心とした、事業支援会議を設置し、庁内連携を図っています。

(6) くにたち市民芸術小ホール設備改修工事ですが、舞台照明、音響等の改修工事を、順調に進めております。

(7) 郷土文化館所蔵の図書資料を貸し出すための図書館管理システムの構築に向けましては、図書館と協力しながら進めております。

2. 文化財保存への取り組みについてです。

(1) 文化財保護審議会を2回開催し、市の指定文化財登録文化財の候補について、議論しております。

(3) 緑川東遺跡出土の大型石棒に関する企画展を、10月24日から12月9日の期間、郷土文化館で開催します。また、関連事業として、11月30日にシンポジウム、「大型石棒の謎に迫る！ー緑川東遺跡調査から見えてきたことー」を開催します。

3. 青少年育成への取り組みについてです。

成人式準備会メンバーは、12名の応募がありました。今後は、9月25日の準備会を皮切りに、どのような成人式典にしていくのか内容を話し合いながら決めていき、成人式を実施します。

4. 社会体育推進への取り組みについてです。

スポーツ推進委員定例会を開催し、初心者バドミントン教室、小学生の初心者水泳教室等の社会体育事業を開催しております。また、東京女子体育大学と連携したファミリーソフトボール教室、スポーツ講演会等も、今後開催していきます。

(3) 校庭、体育館等の学校施設の開放についてですが、学校のご協力を得ながら、市民のスポーツ、レクリエーションの場として活用しております。また、夏季期間、一小、三小、四小、二中の学校プールを開放し、1,800名を超える参加がありました。

(5) くにたち市民総合体育館耐震補強等工事ですが、昭和57年の開館以来、初めて全施設を休館するという大規模工事であり、利用者の皆様には、大変ご迷惑をおかけしております。この休館に伴い、南市民プラザのトレーニング室の開館時間の拡大を図る等の対策を講じる一方、今回の工事は、耐震補強等改修工事のほかに、老朽化に伴う空調用熱源機の更新、プールのろ過機の更新等、大変ボリュームがある工事ですので、予定工事期間内に完了できるよう、急ピッチで工事を進めている状況でございます。

(6) 第三中学校夜間照明施設、(7) スポーツ施設等公共施設予約申請システムにつきましては、それぞれ、平成27年度に設置、稼働できるよう、現在その設計内容や仕様の検討等、準備を進めております。

以上です。

○【山口委員長】 ご説明をいただきました。ご質問、ご意見などお願いいたします。

では、私からですが、工事が順調に、急ピッチということですが、工事が進められているようですが、特に、体育館の工事は大丈夫ですか。工事期間の延長などということは、今のところはない状況ですか。

津田生涯学習課長。

○【津田生涯学習課長】 はい。現在のところはありませんが、プールのろ過機の関係で、配管等がかなり腐食しているという状況もございまして、きょうも、建築営繕課と体育館も含めて話し合いをしております。

○【山口委員長】 わかりました。大変だとは思いますが、しっかりやっていただくのと、もし、何か、当初の予定と変わるようであれば、早めのインフォメーションなども必要ですので、まだ、要らないとは思いますが、よろしくお気遣いをしていただければと思います。

そのほか、ご質問、ご感想いかがですか。

嵐山委員。

○【嵐山委員】 一つは、アートビエンナーレの15作品について、もう少し具体的に教えてください。

それから、もう1点は、緑川東遺跡出土に関する企画展で、11月30日にシンポジウムがあるのですが、これには、どういう人が出るのか、具体的に教えてください。

○【山口委員長】 よろしいですか。

津田生涯学習課長。

○【津田生涯学習課長】 15作品につきましては、財団の「オアシス」の臨時号で、その内容をお知らせしていることと、それから、ホームページで、近々選考された作品も見られるように準備をしているような状況を聞いております。

続きまして、シンポジウムにつきましては、11月30日に行うのですが、パネリストとして、国上市の文化財保護審議会委員の和田先生と、国立ハンセン病資料館の黒尾様、文化庁文化財部美術学芸課古墳壁画室の建石様、中部大学の非常勤講師の長田様の4名を予定しております。

以上です。

○【嵐山委員】 はい。これは、楽しみですね。

○【津田生涯学習課長】 はい。ありがとうございます。

○【嵐山委員】 時間があつたら行きたいです。写真の石棒は見たのですが、とてもいいものだと聞いてるので、もう少し知りたいという気持ちがありますので、文化庁の方も来られるし、それから、中部大学の先生も来られるようなので、できたら聞きに行きたいと思っております。

○【津田生涯学習課長】 ありがとうございます。

○【是松教育長】 アートビエンナーレの模型作品の展示については…

○【津田生涯学習課長】 すみません。よろしいですか。

○【山口委員長】 津田生涯学習課長。

○【津田生涯学習課長】 アートビエンナーレの模型作品の展示箇所なのですが、11月5日から10日、コミュニティ・スペース旭通りにて開催します。その後、11月12日から16日の期間、郷土文化館の研修室、11月19日から21日、市役所の市民ロビーで開催することが決定しております。

また、追加の情報等があれば、市報等でお知らせしていきたいと考えております。

以上です。

○【山口委員長】 では、模型作品が、今のところ3カ所で、市内の北から南まで、何日間か特別展示されるということですので、ぜひ、見させていただきたいと思います。

よろしいでしょうか。

高橋委員。

○【高橋委員】 私のほうから一つ質問です。

出前講座の「わくわく塾くにたち」、この講師はどのような方たちで、また、どれぐらいの利用があるのか、わかる範囲で教えていただければ、ありがたいです。

○【山口委員長】 津田生涯学習課長。

○【津田生涯学習課長】 まず、講師につきましては、それぞれの課の職員が対応し、今年度は、リクエスト講座を含めメニューは、64の講座があります。

状況につきましては、先ほど申しましたが、8月末で21件の申し込みということですが、昨年度は、36件開催した状況です。また、「わくわく塾くにたち」の制度ができてからかなり時間がたっているということもあり、この制度によらず、市民からの要望を受けて、主管課みずから進んで説明会に出向くというような状況もあり、この「わくわく塾くにたち」以外にも多く開催されている状況はあると思います。

○【高橋委員】 はい。わかりました。

○【嵐山委員】 いいですか。

○【山口委員長】 嵐山委員。

○【嵐山委員】 出前というのは、どこに出前するのですか。

○【津田生涯学習課長】 この制度は、市内に在住・在勤・在学の市民5人以上のグループを対象に、その方が会場等を取っていただいて、そちらに出向くということで、会場は主に公共施設が多いような状況になっております。

○【嵐山委員】 自宅などということはないのですか。

○【津田生涯学習課長】 ほとんどないです。

○【嵐山委員】 喫茶店などはあるのですか。

○【津田生涯学習課長】 ありません。

○【嵐山委員】 ないですか。では、場所は、公民館などですか。

○【津田生涯学習課長】 そうです。北と南の市民プラザや、防災センター等の公共施設の会場を中心にっております。

○【嵐山委員】 教育委員会の人が行かれたことはありますか。

○【津田生涯学習課長】 あります。また、この制度以外で、緑川東遺跡の大型石棒に関する説明も行っています。

○【嵐山委員】 はい。

○【山口委員長】 それでは、よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○【山口委員長】 続きまして、給食センター事業についてお願いします。

本多給食センター所長。

○【本多給食センター所長】 それでは、給食センターの平成26年度事業計画の進捗状況について、

説明させていただきます。

1 食の安全安心の確保のうち、(1)良好、安全な食材の調達に関してですが、食品衛生法などの諸規制に適合し、基本的には国内産のもので、食品添加物や遺伝子組み換え、農薬の使用を極力抑えたものの調達に努めているところでございます。

また、地場野菜につきましては、8月末で小学校が4,629キログラム、中学校が2,165キログラムを使用いたしました。

そのほか、122検体の細菌検査を実施いたしました。

次に、(2)放射能への対応ですが、精密な結果を求める場合の外部検査による検査と給食センター独自の放射能検査を実施し、汚染度の軽減につながるといわれている丁寧な食材の洗浄を励行し、測定の結果等につきましては、保護者等に情報提供を行いました。精密な結果を求める外部機関での検査は、35回の検査を実施し、給食センター独自の検査では、午前中における牛乳、小・中学校提供給食として、69回行いました。

(3)給食の充実につきましては、適切な栄養の摂取、旬の食材の使用、米飯給食の拡大、喜ぶ献立は当然のこととして、苦手な食材の克服などの視点で内容の充実に努めたところでございます。第1学期は、小・中学校ともに、69回の給食を実施し、米飯給食の回数は、小学校が週3.41回、中学校が3.12回でございました。

そのほか、旬の食材、人気のある献立、苦手な食材や給食ならではの献立につきましては、資料のとおりでございます。

(4)食物アレルギーへの対応については、現在は、小学校は58名、中学校は18名の保護者に対して、資料の提供を行っています。

(5)衛生管理の徹底としては、裏面のページにまがりますが、これまで3回、職員に対する衛生講習会と学校給食衛生管理基準に基づく定期点検等を実施しております。

次に、2 食育の推進としては、小学校においては69回、中学校は21回分、献立メモを送付いたしました。

学校との連携では、第1学期の残菜の集計データを提供しました。

3 円滑な運営管理の実施についてですが、(1)給食費徴収事務は、9月に現年度督促状の送付を行いました。また、過年度については、引き続き未納給食費の徴収に努めているところでございます。

(2)各種委員会の運営は、記載のとおり開催いたしました。

(3)安全管理の徹底は、衛生委員会の毎月開催と、職員に対する安全管理講習会を2回開催し、安全の確保に努めております。

最後に、(4)施設設備の維持、改善については、8月26日に、第二給食センターの給湯設備を取りかえました。

また、現在進行中ではありますが、6月議会で補正予算を計上いたしました、第一給食センター食器洗浄機取りかえにつきましては、11月1、2、3日の連休中に、取り換えをする予定でございます。

説明につきましては、以上でございます。よろしくお願いたします。

○【山口委員長】 ご説明いただきました。ご質問、ご感想ございましたら。

給食は、非常に大事ですし、出て当たり前のようなところがあるのですけれども、一年中細かい気を遣わなければいけないと思うので、引き続きよろしくお願したいと思います。

施設全体、給湯設備は、今、工事が始まっているようですが、施設全体の老朽化に関することとい
うことがずっと懸念事項としてあったと思うのですが、それに関しては、今、何か動きはございま
すでしょうか。

本多給食センター所長。

○【本多給食センター所長】 9月議会でも、先ほどの報告の中でもございましたけれども、老朽化
施設として、給食センターを今後どうしていくかというようなご質問が、一般質問の中でもございま
した。

今年度につきましては、庁内全体として保全計画をどうしていくかというところまでは、全体とし
てまとめていく方向で、今現在、進めているところでございます。

来年度以降につきましては、給食センターの施設整備計画を具体的にまとめていくような方向で、
今、これから、予算計上の要求もしていくというような形では考えているところでございますけれど
も、具体的に委託などもかけた中で、詳細な調査をかけて、整備計画を立てていくというようなと
ころも、今考えているところでございます。

○【山口委員長】 市全体にかかわることでもあるので、学校もですし、いろいろと難しいところ
があると思うのですが、適当なといいますか、いい形での判断など、アイデアを、ぜひ出していただ
ければと思います。

何か、ほかにご意見、ご質問ございますか。

よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○【山口委員長】 では、続きまして、公民館事業について、石田公民課長。

○【石田公民館長】 それでは、平成26年度事業計画の推進状況を説明いたします。

大きな1番、公民館運営審議会運営事業でございます。毎月定例会を開催し、公民館事業の調査や
審議を行っております。平成25年3月に、公民館長が諮問した、「現代の地域社会に求められる公民
館の事業について」を、およそ1年半ほどかけて討議等され、このたび答申として提出されました。

次に、大きな2番、主催学習事業と会場提供事業でございます。(1)館外事業の実施では、南市
民プラザや桐朋学園などで、親子向けの事業を実施しているところでございます。今後も、ほかの地
域で事業を展開してまいります。

(2)関係機関との連携事業でございます。若者支援事業では、教育指導支援課や教育センターと
ともに不登校の生徒、保護者向けのセミナーを開催しております。今後は、児童青少年課やしょうが
いしや支援課とも連携をしていく予定でございます。

高齢社会の講座につきましては、地域包括支援担当課と共同して、地域の市民とともにきずなづく
りのための会議を、定例的に開催しております。

「生ごみ分解BOX『バクテリア de キューロ』」の講座では、ごみ減量課に講師を依頼して、国
立市のごみ減量への取り組みを紹介してございます。今後も、可能であれば、関係する各部署とつな
がり、公民館企画だけにとどまらない専門的な視点も意図していきたいと思っております。

また、先月、教育長報告でもご説明申し上げましたけれども、夏休みふれあいひろばというこ
とで、地域の伝統的な活動をいただいているグループの方々とともに、1日、子ども向けの事業を企画
して、盛況をいただいたところでございます。

(3)地域の課題や生活課題、現代的な課題をテーマにする講座につきましては、ごみ減量などの

生活課題、また生きづらさを抱える若者への支援事業、それから、現在、防災意識を少し高めるための、ゲリラ豪雨などの講座を、現在企画しているところでございます。

また、憲法・平和、多文化共生など、現代的な課題も取り上げてまいります。

(4) 講座を通じた自主的な活動や地域の仲間づくりにつきましては、公民館の学習が自主的な学習だけにとどまらず、地域の仲間づくりにつながるような学習になることを企画しております。昨年度実施した銅版画の講座では、自主グループが起ち上がりました。現在、公民館だよりのタイトルの募集をしておるところでございますけれども、そちらにも、自主グループからのご応募をいただいたところでございます。今後も、学習サークルの支援なども視野に入れてまいりたいと思います。

大きな3番、広報発行事業では、公民館広報誌「くにたち公民館だより」を毎月発行し、公民館が多くの市民に親しまれるよう、また、利用されるよう、情報提供に努めております。紙面も工夫して、昨年度は、市内52カ所の広報掲示板を積極的に活用しているところでございます。今年度も引き続き、シルバー人材センターを活用して、そちらへの掲示を促しているところでございます。

4番、公民館図書室事業につきましては、限られたスペースではございますが、図書の展示を工夫し、図書が多くの方に利用できるよう、また、講座の図書が紹介できるように努めているところでございます。現在、中央図書館が5カ月間の耐震工事に入っていて休館のため、予約本の受け取り窓口の一つとして、とても活用いただいているところでございます。

最後に、公民館の施設維持管理事業でございます。市民の学習拠点として維持管理に努めているところでございますけれども、建築後35年が経過して、給排水設備やしょうがいしゃ用のエレベーターなどの付帯設備に、若干のふぐあいが生じてございます。今後も可能な限り、補修、維持管理に努めてまいりたいと思います。

以上、雑駁ですが、説明とさせていただきます。

○【山口委員長】 ご説明いただきました。ご質問、ご意見などいかがでしょうか。

公民館は、市民の集いの場所として、国立市は、特に親しまれているのかと思います。地域をつないでいくということは、これからとても重要になってきていますが、学校を見ても感じるのですが、各学校が地域の拠点になるようにやっていく。それ以外のいろいろなところ、公民館や図書館など、特に、公民館の場ができると思うので、そういうことが、地域のつながりの拠点になるようなことが、大切になってくると思います。難しいことも多々あるとは思いますが、しっかりといただければと思います。

高橋委員。

○【高橋委員】 私も感想として、この主催学習事業の中の2番、(4) 夏休みふれあいひろばを、1回設定して、とてもよかったというお話を、今聞きまして、ここに書かれている伝統文化活動、それから、異世代交流。私も、かつてこういう昔遊び、お手玉やコマ回しはもちろんのこと、いろいろな昔遊びを教えてくれるボランティアの人を学校に呼んで、交流をしたことがあるのですが、こういう異世代交流というのは、非常に、今の子どもたちにとって意義のあることだと思えます。

どのような状況だったか、それから、今後もどのように取り組んでいくのか、そういったこともわかる範囲で教えていただければ、ありがたいです。

○【山口委員長】 石田公民館長、お願いします。

○【石田公民館長】 夏休みふれあいひろばにつきましては、先月も説明させていただきましたけれども、小学生が82名ほど集まり、着付けの体験や、注連縄など、いろいろと体験いただいて、公民館

1階から3階まで、子どもたちが1日遊び回っているような状況でした。

今後につきましては、公民館での初めての事業で、今後、長期間の休みなど、少しずつ、子どもが集まれる事業を企画して、異世代、さまざまなグループの方々、そういう技能をお持ちの方もいるので、そういった方々と一緒に、連携をしていきたいと思っています。

○【高橋委員】 わかりました。ありがとうございます。

○【山口委員長】 ほかに、よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○【山口委員長】 では、最後になりますけれども、図書館の事業についてお願いします。

森永図書館長。

○【森永図書館長】 それでは、平成26年度図書館事業計画の推進状況につきまして、ご報告申し上げます。

平成26年度上半期につきましては、図書館事業の根幹となります利用者登録、貸し出し、返却、予約、さらに、相談受付等の業務を行いました。また、市民の幅広い読書要求に応えるための選書、蔵書構成を行ってまいりました。

そのほかの主な事業といたしまして、まず、第一ですが、図書館協議会運営事業です。現在の第19期図書館協議会は、平成26年10月を目途に、図書館運営についての報告と提言をまとめる予定でおります。そのための協議を継続してまいりました。また、ことし、11月の第20期委員の改選に向け、人選を進めているところでございます。こちらにつきましては、10月の教育委員会に議案上程の予定でおります。

2点目が、中央図書館耐震改修事業についてでございます。平成25年度に行いました耐震補強工事実施設計に基づきまして、今年度は、耐震補強工事を7月から11月末までの予定で実施しております。なお、この工事に伴いまして、休館中のフォロー体制を実施しております。各分館、分室におきまして、開館時間の延長、あるいは、市役所、市民ロビーにおきまして、臨時窓口などを設けまして、新聞コーナーや予約本の受け渡しなどを行っております。

3点目につきまして、ブックスタート事業でございます。こちらの事業につきましては、第二次国立市子ども読書活動推進計画に、新規事業で盛られたものでございます。ことし8月から、保健センターにおいて開始いたしました。対象は、3カ月、4カ月児健診のお子さんと保護者の方を対象といたしております。本の読み聞かせを行いまして、その本を無償で差し上げるという事業です。8月から、毎月第2、第3金曜日の午後、保健センターで開始しております。

こちらは、本の頒布ということだけではなくて、図書館と保健センター、さらに、子育て支援課、児童青少年課、保育園など、各課が関連しまして、子育てに関する相談の受け入れの窓口ともなっております。このようなことで、地域の中で子育てを応援していこうという事業でもあります。こちらの実施につきましては、図書館の職員と新たに募集しました市民ボランティア、講習を受けていただいて、読み聞かせボランティアとして参加していただいております。

4点目が、他機関との連携でございます。こちらにつきましては、近隣の国分寺市、府中市、立川市との図書館相互利用を継続して行っております。また、市内の大学、一橋大学、東京女子体育大学との連携の方策についても検討していきます。

5点目が、駅前図書館についてでございます。中央線高架化事業に伴いまして、国立駅高架下への図書館機能について、具体的検討を進めているところでございます。

6点目が、図書館システムの更新についてでございます。現行システムのリース期限が、平成27年1月末で終了いたします。そのため、現在、新規システムへの移行作業を進めております。こちらは、4月から5月にかけて、業者選定をプロポーザル方式において行っております。8月に契約締結、さらに、これに基づきまして、現在データの移行作業などを進めているところです。先ほど生涯学習課長からもありましたとおり、次期システムにおきましては、図書館、公民館、そして、郷土文化館の蔵書を統合して管理できるようにということで進めておりますので、そのことによりまして、郷土文化館の所蔵する地域資料を有効に活用できるものと考えております。

7点目が、先ほどもご報告申し上げました、中央図書館開館40周年記念事業でございます。開館40周年を振り返りまして、講演会などの各種イベントを行ってきております。記念講演会につきましては、9月6日、9月20日ということで、2回を開催しております、10月4日に3回目を開催する予定でございます。

また、下半期の課題につきましては、現在の耐震工事を11月末に終えまして、12月3日から再開館するための準備を、これから進めていくというところでございます。それから、新システムにつきましては、平成27年2月1日から稼働できるように、こちらも準備を進めていくというところでございます。

もう一つ、若い世代を対象としましたYA講演会につきまして、2月に講演会を実施できるように、その準備の取り組みを進めているというようなどが挙げられます。

進捗状況につきましては、以上です。よろしく願いいたします。

○【山口委員長】 ご説明いただきました。ご質問、ご意見などお願いをいたします。

二つ、三つ、質問ですけれども、一つは、中央図書館の耐震化工事で、市民の方に、ある意味ではご不便をおかけしていると思うのですけれども、その状況など、それをフォローするために、市役所に窓口をつくったりしたところで、何か動きなど、途中で改善したなど、そういうことはございませんか。

森永図書館長。

○【森永図書館長】 中央図書館が、5カ月間閉館になるということで、大変ご不便をおかけしているところですが、そのフォロー体制としまして、北市民プラザ図書館につきましては、平日、夜間を7時まで開館しております、こちらは、近隣の方、あるいはお勤め帰りの方から、夜間の時間が使えて便利であるというようなことをいただいております。それから、南分室などにつきましても、平日、午前の時間を開館しております。午前10時からの開館ということで、こちらも、近隣の方々からは、午前中の時間が使えるようになって便利であるという声をいただいております。

各分室におきまして、やはり、利用度が1.5倍からそれ以上、1.9倍近く伸びているというようなどころがあります。この機会に、各分室のご利用のほうを周知していきたいと考えております。

それから、中央図書館では、所蔵資料が出せないという状況がありますので、やはり、不便であるというようなお声をいただいております。市役所で、予約本の受け渡しを行っておりますけれども、もう少し実際ある資料を使いたいというご意見が多いというように感じております。

耐震工事につきましては、以上です。

○【山口委員長】 はい。まず、駅前図書館に関しては、4月にもお話がありましたけれども、この進捗で、特に、何かありますでしょうか。

森永図書館長。

○【森永図書館長】 こちら、駅前図書館、国立駅高架下へのスペースですけれども、駅の下につきましては、500平米ほどあります。そのうち、国立市のスペースとしましては、380平米程度が使えると。残りは、国分寺市側で使うというような配分になっております。その中で、図書館につきましては、行政サービスコーナーと一体としまして、予約本の受け渡しなどを行える機能的なポイントとして、今、考えているところでございます。

○【山口委員長】 いつごろからというのは、ございますか。

○【森永図書館長】 こちらにつきましては、もうしばらくしまして、具体的な計画のほうへ入っていくというところであります。現在、まちづくり推進本部におきまして、各課の利用要望などを集約しているというところで、もう少し時間をかけて、集約されてくるという中で、図書館については、どの程度のスペースで、どういう機能というところが、年内には出せるというように考えております。

○【山口委員長】 ありがとうございます。

そのほか、よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○【山口委員長】 上半期といいますか、この時点までの事業の推進状況をお聞きしました。



○議題（４） その他報告事項３） 市教委名義使用について（６件）

○【山口委員長】 続きまして、その他報告事項３、市教委名義使用についてに移りたいと思います。

津田生涯学習課長。

○【津田生涯学習課長】 では、平成26年度8月分の教育委員会後援等名義使用についてです。

お手元の資料のとおり、承認5件、不承認1件でございます。

まず、承認5件についてです。

1番目、多摩川ロードレース実行委員会主催の「第52回三多摩スポーツ祭典’14誰でも参加できる秋季ランニング大会」です。本大会は、市民・都民を対象にスポーツの普及と発展に寄与することを目的とした「誰でも参加できる」ロードレース大会であり、平成26年11月9日、9時半スタートの2キロ小学生の部を皮切りに、5キロ、10キロの種目で、国立市河川敷公園グラウンドをスタートして開催します。参加に当たっては、事前の申し込みが必要であり、参加費は、一般、壮年、女子は3,000円、小学生は1,000円となります。

2番目、国立大学法人一橋大学主催の「平成26年度一橋大学秋季公開講座」です。今回は、「小口金融が世界を変えるーマイクロファイナンスの可能性」というテーマのシンポジウムを、10月25日14時より、一橋大学国立西キャンパスにて開催します。参加費は無料です。

3番目、第24回くにたちウォーキング実行委員会主催の「第24回くにたちウォーキング」です。「楽しく歩く」ことを目的として、10月13日の体育の日に、谷保第三公園をスタート、ゴールに、8.7キロと12.6キロの2コースで国立市内を歩きます。参加費は、一般500円、当日は700円。中学生以下は、200円、当日は300円です。

4番目、くにたち発達しょうがいを考える会「太陽と昴の会」主催の「石井めぐみ講演会～障害児ゆっぴいに教えられたこと～」です。しょうがいを持って社会で暮らすことへの理解を市民に深め、誰もが安心して暮らせるまちづくりについて考えることを目的に、10月5日14時より、くにたち福祉

会館大ホールにて、講演会と発達しょうがいや国立市の取り組みの報告を行います。参加費は無料です。

5番目、東京都図画工作研究会主催の「第53回東京都図画工作研究大会北多摩大会」です。都と近隣の小学校教諭、保護者、地域住民等を対象とし、豊かな人間性の育成と造形美術教育の向上を目的に、北多摩ブロック17市が一体となり研究してきた成果を、12月12日、東村山市立萩山小学校にて発表します。参加費は、3,000円です。

以上5件につきまして、教育委員会で審議をし、妥当と判断いたしましたので、こちらの名義使用については、承認をいたしました。

次に、不承認1件についてです。

「憲法とわたしたち・連続講座」実行委員会主催の「『憲法とわたしたち連続講座』その43」です。

教育委員会の名義を使用する際は、国立市教育委員会後援等名義使用承認事務取扱要綱に基づき、その都度、名義使用申請書並びに事業内容等がわかる書類を添付し、申請していただき、申請のあった事業が、「委員会の名義使用にふさわしい事業であること」、「宗教活動及び政治活動以外のものであること」、「作品の販売等営利を目的としないものであること」などの要件を満たしたものを、承認しております。

本講座につきましては、7月23日に申請がありましたが、申請内容を確認する中、申請書添付書類のチラシの記載内容が、教育委員会として、中立・公平性の点において、後援するにふさわしくないと判断し、8月6日に後援名義の使用を不承認としました。

その後の経過について、少し説明させていただきます。

相手方要望の話し合いを、8月13日に、会の代表者を含め、延べ6名の方と2時間行いました。後援名義使用を不承認とした理由及び対応の経過を改めて説明した後、会の方よりチラシの記載内容については、安倍政権が改憲に向かって閣議決定を行った状況について危機感を抱いているため、このように記載し、今回の学習会を緊急学習会と位置づけた。教育委員会が不承認の判断をしたことは、残念との意見があり、最後に代表者より、「それぞれの立場はあるが、今回話し合いの場を持てたことはよかった」ということで終わりました。

なお、今後の当事業の後援名義使用につきましては、国立市教育委員会後援等名義使用承認事務取扱要綱に基づき、その都度、申請内容を確認し、承認、不承認の決定を行ってまいります。

以上、報告です。

○【山口委員長】 ご報告をいただきました。ご質問、ご意見など、いかがでしょうか。

私から再度の確認です。経過報告は、その都度受けておりましたけれども、後援会名義の不承認というのは、事例は何回かあったようですが、今回出てきたということで、相手の団体の方と話し合いを持ってということをしちんとし、そこでかなり突っ込んだといいますか、話をされて、状況説明をして、一応わかっていたというような格好と理解してよろしいでしょうか。

津田生涯学習課長。

○【津田生涯学習課長】 こちらの話の内容について理解いただいたという方もいましたけれども、全体としては、先ほどお話ししたとおり、教育委員会が不承認という判断をしたのは、残念という意見が出ていた状況です。

○【山口委員長】 宮崎教育次長。

○【宮崎教育次長】 2時間、お話し合い、意見交換をしたのですけれども、最終的に、お互い意見、「そうですね」と理解したというよりは、やはり、考え方については、最後まで平行線だったと、そのようなご発言も、相手方からは出ています。

つまり、教育委員会としては、このチラシの書きようはどうしても教育委員会として後援することは難しいということ、さまざまにご説明申し上げましたけれども、主催する方々は、安倍政権の現在の対応に、非常に危機感を持っている。よろしくないと考えている。そのことについては、教育委員会も同調すべきだという考えでしたので、同調するということは、私たちはできませんとお伝えしました。

一方で言えば、逆の立場の方が、逆のことを企画してきたとしても、やはり、そういったものについても、教育委員会は後援しませんというご説明を申し上げましたけれども、「最後までお互い平行線ですね」というようなことは言いながら、「でも、きょうは、話し合えてよかった」ということになりました。

○【山口委員長】 わかりました。

よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)



○議題(5) その他報告事項4) 要望書について(1件)

○【山口委員長】 続きまして、その他報告事項4、要望書ついでに移ります。

川島教育総務課長。

○【川島教育総務長】 要望は1件です。子どもたちが主権者の社会科教育を求める会より、「国立市教委が『憲法とわたしたち連続講座』の後援を拒否したことを反省し、今後当講座の講演を拒否しないよう求める要望書」をいただいております。

以上です。

○【山口委員長】 ご説明いただきました。ご質問、ご意見などお願いいたします。

是松教育長。

○【是松教育長】 この件については、前段といたしますか、この前のその他報告の中での生涯学習課長の報告、あるいは、教育次長からの当事者間との話し合いの状況を話していただいたところです。それに尽きると思いますが、要望の要旨の1に、「今後、実行委員会主催の『憲法とわたしたち連続講座』を後援すること」というようにあります。

これまでも、継続して、この連続講座に関しては、市民の学習権の保証という意味から、しかも、憲法を素直に勉強していくという内容であったので、ずっと、後援名義使用を許可してきました。これまでのチラシは、今回ほど、政治イデオロギーが表に出ているものではなかったもので、当然、後援をしてきたいきさつがあります。ですから、今後、この連続講座について、また、市教委名義使用の申請があった場合には、同じ立場で、是々非々でやっていきたいというように思っております。

以上です。

○【山口委員長】 はい。先ほどの市教委名義使用のところ、こちらと全く同じ内容の話は、既にしております。

よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○【山口委員長】 それでは、秘密会以外の審議案件は、全て終了いたしました。

ここで、次回の教育委員会の日程を決めておきます。どのようになりますでしょうか。

宮崎教育次長。

○【宮崎教育次長】 次回、10月は、10月28日火曜日、午後2時から、会場はこちら、教育委員室を予定してございます。

○【山口委員長】 それでは、今、宮崎教育次長より言っていただきましたが、次回の教育委員会は、10月28日、今度は火曜日です。定例の曜日に戻りますけれども、午後2時から、会場はこちら、教育委員室で行います。

ありがとうございました。

傍聴の皆様、ありがとうございました。お疲れさまでございました。

午後3時43分閉会